

JC09 Rec'd PCT/PTO 28 SEP 2009

1 / 1 PLUSPAT - QUESTEL-ORBIT

Patent Number :

JP48037880 A 19730604 [JP48037880]

Application Nbr :

JP7323771 19710918 [1971JP-0073237]

Priority Details :

JP7323771 19710918 [1971JP-0073237]

Publication Stage :

(A) Doc. Laid open to publ. Inspec.

** Result [P] ** Format(P803) 2005.09.27 1/ 1

Application No./Date: 1971- 73237 [1971/ 9/18]
 Public Disclosure No./Date: 1973- 37880 [1973/ 6/ 4]
 Registration No./Date: []
 Examined Publication Date (present law): []
 Examined Publication No./Date (old law): []
 PCT Application No.: []
 PCT Publication No./Date: []
 Preliminary Examination: ()
 Priority Country/Date/No.: () [] ()
 Domestic Priority: [] ()
 Date of Request for Examination: [1973/ 1/11]
 Accelerated Examination: ()
 Kind of Application: (0000)
 Critical Date of Publication: [] ()
 No. of Claims: (1)
 Applicant: SANYO KOKI:KK
 Inventor: WATANABE SENMATSU
 IPC: B65H 29/24
 FI: B65G 51/03 A B65H 29/24 A
 F-Term: 3F049AA03, EA24, EA27, FA01
 Expanded Classification: 269
 Fixed Keyword:
 Citation: [, , ,] (, ,)
 Title of Invention: Table apparatus for transportation

Abstract: [ABSTRACT]

What air was blown up from exhaust nozzle on a table top, and body could be saved, and it was transported, and blowout direction of air was able to be converted to.
 Additional word: Table, flotation transportation, direction conversion, dislodging, air blowout
 (Machine translation)

Relation to Original Application: (0000)
 Original Application No.: ()
 Original Registration No.: ()
 Retroactive Date: []
 Assignment/License: ()
 Classification of Examiners Decision/Date:
 (decision of rejection) [1978/ 2/28]
 Final Examinational Transaction/Date:
 () []
 Kind of Examination: (01)
 Examination Intermediate Record:
 (A63 1971/ 9/18, PATENT APPLICATION UTILITY MODEL REGISTRATION APPLICATION,
 2000:) (A621 1973/ 1/11, WRITTEN REQUEST FOR EXAMINATION, 8000:)
 (A131 1976/ 3/30, WRITTEN NOTICE OF REASON FOR REJECTION, :)
 (A522 1976/ 5/11, WRITTEN AMENDMENT, :)
 (A53 1976/ 5/11, WRITTEN OPINION, :)
 (A192 1976/10/ 5, DECISION TO DECLINE THE AMENDMENT, :)
 (A319 1977/12/16, AMENDMENT DECLINING RETURN, :)
 (A02 1978/ 2/28, DECISION OF REJECTION, :)

*** Trial No./Date: []
 Kind of Trial: [] ***

Demandant: -
Defendant: -
Opponent: -
No. of Opposition in Effect: ()
No. of Opposition Claims: ()()
Classification of Trial Decision of Opposition/Date:
() []
Final Disposition of Trial or Appeal/Date:
() []
Trial and Opposition Intermediate Record:

Registration Intermediate Record:

Amount of Annuity Payment: ()
Extinction of Right/Lapse Date of Right:
() []
Closed Register Filing Date: []
Proprietor: -
Status of Register: ()



特 許 願 2

昭和48年 8月14日

特許庁長官

殿

1. 発明の名称

搬送用テーブル装置

2. 発明者

東京港区江東区白河103013

株式会社 佐賀正 武

3. 特許出願人

東京港区江東区白河103013

株式会社 佐賀正 武

4. 代理人 千110

東京都台東区東上野4丁目26番7号

協栄ビル4階

弁護士 (6490) 志 賀 正 武

5. 添付書類の目録

- | | |
|-----------|-----|
| (1) 明 細 書 | 1 通 |
| (2) 図 面 | 1 通 |
| (3) 願書副本 | 1 通 |
| (4) 委任状 | 1 通 |



①9 日本国特許庁
公開特許公報

①特開昭 48-37830

④公開日 昭48.(1973) 6.4

②特願昭 46-73237

②出願日 昭46.(1971) 9.18

審査請求 有 (全3頁)

庁内整理番号

⑤日本分類

6783 36

835J11

明 細 書

1. 発明の名称

搬送用テーブル装置

2. 特許請求の範囲

テーブル面に設けられた多数の吸出孔を適して圧縮空気をこのテーブル面から斜め上方に吹き上げることにより不研接時の搬送物をこの圧縮空気で浮き上げてその吹き上げ方向に搬送すると共に、この圧縮空気の吹き上げ方向を従来する機構を備えて上記搬送物の搬送方向を従来するように調整した搬送用テーブル装置。

3. 発明の詳細な説明

本発明は搬送用テーブル装置に係り、特にテーブル面上の吸出孔から圧縮空気を斜め上方に吹き上げて、テーブル面上に送り込まれた物体を浮き上げながら搬送すると共に、この

より、上記物体の搬送方向を従来するようにした搬送用テーブル装置を提供することを目的とする。

以下図面と共に本発明搬送用テーブル装置の実施例を説明する。

第1図は本発明搬送用テーブル装置の斜視図、第2図はその平面図を示す。図中、1はテーブルであり、上面にはメッキが施され内蔵が空洞に形成されている。2はテーブル1の上面に多数配列状に穿孔された圧縮空気の吸出孔である。3はテーブル1の下側に取付けられたコアーコンプレッサーであり、ここで圧縮された空気がテーブル1の空洞の中に止まる。上記吸出孔2から上方斜めに吹き上げられる。

第3図A、Bはそれぞれ上記テーブルの部分断面図である。図中、1はテーブル1の上面であり、そこには吸出孔2(2a、2b)が設けられている。

共に、その発生された吸出孔 2a、2b は / 殆どを成その向きを直方方向に連えられて配設されている。すなわち、吸出孔 2a は図の右方に向けられており、この吸出孔 2a と / 外壁面とにけられた吸出孔 2b はその向きが左の向きに向けられて設けられている。1b は上山板 1a の下板 1b として設けられた下板であり、A 部に設けられた側壁から矢印方向に押し出されて B 部に示す位置まで位置移動することとなる。また、1c はテーブル 1 の下板であり、これと上山板 1a とによりテーブル 1 の内部が空腔に形成されている。

ところでコンプレッサ 3 から送られた圧縮空気はこの空腔の中に送られ、テーブル 1 の吸出孔 2 から斜め上方に吹き上げられるが、下板 1b が A 部に在る状態の時には吸出孔 2a が露出しているため吸出孔 2b のみから圧縮空気が吹き出される。また、下板 1b が B 部に在る状態に於ては吸出孔 2b が露出してい

るため、吸出孔 2a のみから圧縮空気が吐出されてそれぞれの吐出方向が変えられる。

第 4 図は上記テーブル 1 に不材板 4 が設けられて排送される状態を示す。図に示される如く不材板 4 はその圧縮空気によつて矢印方向に搬送されるが、この時、吸出孔 2a が露出されるから斜め上方に空気が吐出されており、テーブル 1 の下板 1b は第 3 図の位置に在る状態の位置に在る。

そして不材板 4 がリフトスイフタ 6 まで搬送すると、これと一体化するシリンダ 6 が作動して下板 1b を第 3 図に示す位置に移動し、吸出孔 2b が露出されるから空気を吐出する。この時、不材板 4 は今度は矢印方向に切換えられて搬送される。そして、不材板 4 が移動されてスイフタ 7 をはずれると下板 1b が元の位置に復帰し、テーブル 1 は矢印方向に搬送可能な状態にして / サイクル 6 / を終了する。

上述の如く本発明による搬送用テーブル構造によれば、テーブル上から圧縮空気を斜め上方に吹き上げると共にその吹き上げ方向を変え得るように構成したので、不材板のような平面状の被搬送物はテーブル上に併上して搬送され、従つて被搬送物にキズがついたり、あるいはテーブルの搬送機構に機械的故障が生じたりすることがなくなり、また空腔に設けられている等の特徴を有するものである。

とくに従来のコンベア搬送システムにおいては材料送るのほば 2 倍の送るのコンベアを設けしないと、材料を損傷しないように搬送できなかったが、本発明の空気搬送であるとテーブル板は必要最少量で足りることになる。これが方向変換部分においてはさらにその利点が助長される。

さらに有利なことはテーブル板上で搬送しながら上方から強圧で材料を押入った状態で切

り作業効率を上げて有益である。

4 図面の簡単な説明

第 1 図は本発明搬送用テーブル構造の真視側の側面図、第 2 図はその側面図、第 3 図 A、B はそれぞれその部分の断面図、第 4 図は上記テーブルの使用例を示す平面図である。

1.....テーブル、1a.....上山板、1b.....下板、2.....吸出孔、3.....リフトスイフタ、6.....シリンダ。

代理人 弁達士 志賀正武

